

Y I A 会員だより 2026年3月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)
第255号 ホームページURL <https://yia2020.net/>



【3月以降の活動予定他】

◎外国人お遍路ガイド 場所：鴨島公民館

第42回 3月9日(月) 10:00~11:30

第43回 3月28日(土) 13:00~14:30

☆お接待 藤井寺 3月20日(金) 8:00~

◎多文化共生講演会

場所：鴨島公民館2階会議室 1/2/3

日時：3月8日(日) 13:30~15:30

講師：四国大学留学生ベガイムさん(キルギス)

長田有加里さん(ODA、JICAでの海外支援活動)

◎令和7年度 多文化共生社会を模索するセミナー

場所：TOPIA 会議室

日時：3月13日(金) 13:30~16:00

講師：阿部一郎氏(自治体国際化協会・地域国際化推進アドバイザー)

◎第12回理事会 場所：文化研修センター

日時：3月21日(土) 15:00~

◎総会 場所：文化研修センター多目的ホール

日時：5月16日(土) 13:00~15:00

記念講演会：神山町の常峰真弓さんの活動報告(案)

◆第10回グローバルセミナー「アリさんの聖地メッカ巡礼のお話」 瀬尾 規子

第10回グローバルセミナーでは、インドネシア出身のアリさんに聖地メッカ巡礼のお話をさせていただきました。



アリさん(左)とアルサル先生(右)

アリさんは、川島町在住でハラル食品専門店を運営しています。以前、介護施設で勤務していたので日本語がとても上手でした。もっと神に近づきたいという思いで、聖地メッカに巡礼に行ったそうです。イスラム教の小さな巡礼のことを「ウムラ」と言います。メッカでは、カアバ神殿の周りを反時計方向に7周回るタワーフを行いました。メッカ巡礼は、感謝し、忍耐し、人にやさしくする目的があ

ります。「ウムラ」のあとは、心が落ち着き、もっと良い人になったと感じるそうです。

ります。「ウムラ」のあとは、心が落ち着き、もっと良い人になったと感じるそうです。

ラムダダン(断食)は、お金持ちも貧乏な人も等しく空腹や渴きの辛さを味わうことで、恵まれない人々を思いやり、神の恵みに感謝する気持ちを育むことを目的と



して行われています。最後の日には、米など2500円相当のものを貧しい人たちに施すそうです。アリさんのメッカ巡礼のお話や特別参加のアルサル先生のお話を聞いて、イスラム教徒の人たちのやさしさや思いやりを知ることができました。30人が参加し盛会でした。

◆お接待に参加して

大道 貴代子

2月23日、NPO法人 遍路とおもてなしのネットワーク主催の一日一斉“おもてなし遍路道ウォーク”が、四国四県で開催されました。それに合わせ、私たちY I Aの遍路ガイドグループのメンバー8人は、藤井寺でお接待をしました。天候にも恵まれ、イベント参加者は30人余り、納経帳記載の方は約70人、たくさんのお遍路さんが参拝されました。

お接待のお声掛けをすると、皆さん笑顔でふかし芋や



干し柿、お菓子などを手に取り話がはずみました。この時期なので、海外からは、中国、シドニー、NZ等と少なかったですが、今、欧米で急増しているのが、NRBS- Not Religious But Spiritual、「特定の宗教は信仰していないが、精神的な充足や魂の成長は大切にしたい」という価値観。お接待を通して遍路文化や日本の素晴らしさを伝えられたらと思います。

以前、二度ほど遍路をした時に受けたお接待の喜び、今回はお接待する側になり、たくさんの方の笑顔や感謝の言葉を頂き、遍路文化のすばらしさを再認識しました。清々しく晴れやかな気持ちになり、お遍路さんの安全を祈らずにはいませんでした。



◆吉野川市に住む外国人の状況 萩森 健治

市内に在住する外国人の状況について毎年1月末時点で調査しており、2026年の結果を報告します。

特徴

- ① 吉野川市の外国人は昨年より74人増加し646人となり過去最多。コロナ禍で2021年、2022年に2年連続で計54人減少したが、コロナがほぼ終息した2023年から急増。2026年の吉野川市の人口(370百人)の1.75%。
- ② 出身国は23か国で昨年と同様である。多くの国籍の人たちが多文化共生の様相を呈す。
- ③ ベトナムは昨年より10人増加の162人となり、昨年同様1位。技能実習を終え特定技能として再入国した人や家族帯同者が増えたのでは。
- ④ 中国は143人で昨年より7人増加したが、ベトナムについて昨年同様第2位。
- ⑤ インドネシアは昨年より24人も増加し128人。介護の技能実習生と特定技能生が多いと思われる。
- ⑥ ミャンマーは昨年より37人増加し65人。
- ⑦ フィリピンは2人減少し47人。日系など身分に基づく在留者が多く変動が少ない。

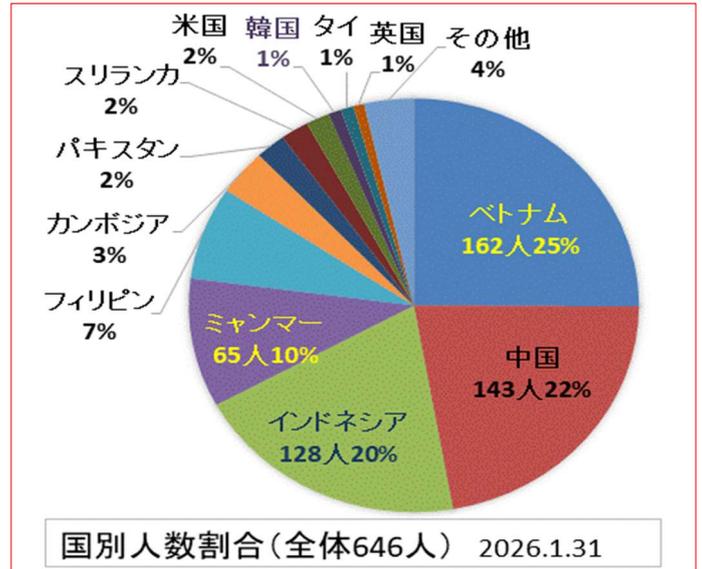


図-1 国別人数割合(2026年)

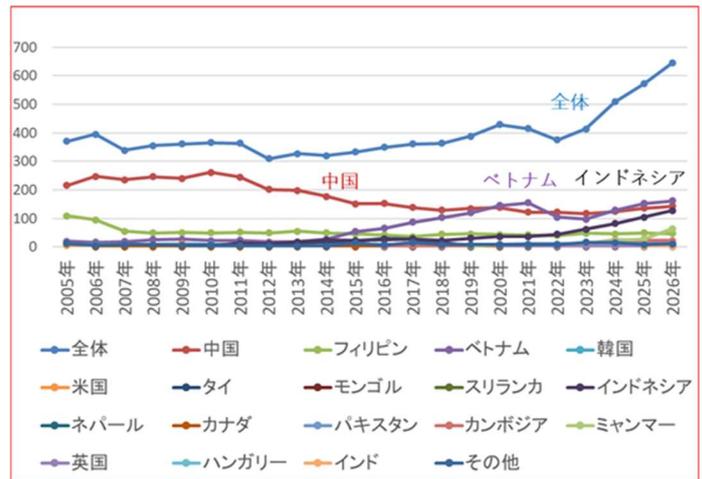


図-2 外国人数の経年変化

- ⑧ カンボジアは昨年同様で23人。パキスタンは昨年より1人増加し14人。
- ⑨ スリランカは昨年同様で13人。
- ⑩ 米国は昨年より1人減少し11人、韓国は1人減少し6人。
- ⑪ タイは多い年は30人いたが、8年前に16人となり減少の一途で2026年は6人。
- ⑫ モンゴルは昨年まで2~3人の介護職がいたが、今年は0となった。

吉野川市の外国人登録数(2026年1月31日現在) : ベトナム162人、中国143人、インドネシア128人、ミャンマー65人、フィリピン47人、カンボジア23人、パキスタン14人、スリランカ13人、米国11人、韓国6人、タイ6人、英国5人、カナダ4人、ネパール3人、ハンガリー3人、台湾3人、インド2人、ルーマニア2人、ロシア2人、ブラジル、ドイツ、ニュージーランド、国籍未記入各1人 23か国 合計 646人